

「日本庭園」のデザイン

— その誕生と変遷

話題提供者 小野 健吉 (観光学部 教授)

近年、訪日観光客が増加する中、特有のデザインと雰囲気を持つ日本庭園は観光資源としても注目が集まっています。

それでは、桂離宮や金閣寺の池庭あるいは龍安寺の枯山水—「日本庭園」として思い描かれるこうした庭園のデザインは、いつ、どのような経緯でできあがったのでしょうか。そして、どのような変遷を経て、いまに至ったのでしょうか。

庭園遺跡の発掘調査の成果や文献資料などを用いながら、日本庭園デザインの誕生とその後の変遷についてお話ししたいと思います。

参加無料
申込不要

日時 2017年7月19日 水 19:00 ~ 20:30

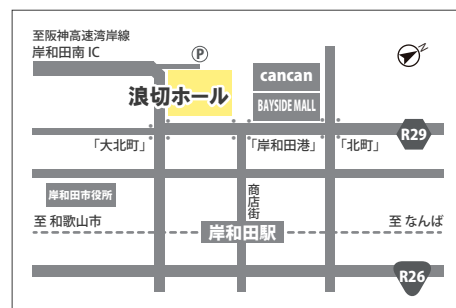
場所 岸和田市立浪切ホール1階 多目的ホール

問合せ 和歌山大学岸和田サテライト

岸和田市港緑町1-1 浪切ホール2F

Tel & Fax : 072-433-0875

【E-mail】 kishiwadastaff@center.wakayama-u.ac.jp



南海本線「岸和田」駅下車 徒歩約10分

駐車場有 (終日無料)



わだい浪切サロンとは 毎月第3水曜日(2月と8月を除く)の夜7時、岸和田市立浪切ホールで開催する mini 和歌山大学です。和歌山大学の教員等が、地域のみなさまに身近な研究テーマや旬のトピックスをわかりやすくお話しします。申込は不要、参加費は無料、どなたでも参加いただけます。

今後の開催予定

回	日時	テーマ（予定）	話題提供者（敬称略）
95	9月20日（水）	調整中（決まり次第ホームページにアップします）	調整中

※2月はお休みです。

第92回「音をとおして関わる

～音楽療法が私たちに気付かせてくれること～のアンケートより

- ◇ 私は将来、音楽療法士になりたいと思っていて参加させていただきました。実際に音楽療法が行われている様子を見て興味がわきました。また自分でいろいろ調べてみようと思います。（10代・女性）
- ◇ 音楽療法は、セラピストからクライアントに伝えるイメージが強かったのですが、音遊びの会の映像を見せていただき、自分たちで表現することもあるのだと知り、先生がおっしゃるように正解のない可能性が無限な世界なのだと思います。もっと知りたいと思いました。来て本当に良かったです。ありがとうございました。（30代・女性）
- ◇ 異年齢のたくさんの方々と音をとおしてひとつになれたような気がしました。音の持つ“ちから”を改めて感じました。（40代・女性）
- ◇ 実際に自分も参加しての表現はとてもわくわくして楽しかったです。何でも誰とでも作り上げていくことができるんだと思いました。（40代・女性）
- ◇ 順序立てた説明でわかりやすく興味が深まりました。むつかしいところがなくて良かったです。皆での演奏表現の後気分がすっきりして、学習に来たというよりリラックスして終わることが出来ました。まさに音楽療法を実感しました。具体的な方法を次は学びたいです。（60代・女性）
- ◇ 日頃、雑音の中で暮らしていて、最後の「雨」についての音を感じる、創造するという行為が落ち着けて良かった。（50代・男性）

🔊 わだい浪切サロン参加者の声

- ・ **大学の授業を体験**できたみたいでとても良かった。（10代・女性）
- ・ すごくわかりやすく、**今の自分が知りたいテーマ**だった。（30代・女性）
- ・ **質疑応答の時間**があるのが良い。（60代・男性）

和歌山大学岸和田サテライト 岸和田市港緑町 1-1 浪切ホール 2F

【Tel&Fax】072-433-0875

【URL】<http://www.wakayama-u.ac.jp/kishiwada/>

🔍 岸和田サテライト

検索 🔍

